

会 議 議 事 録

1 会議名	平成28年度 第2回長岡市図書館協議会
2 開催日時	平成29年2月24日（金曜日） 午後1時30分から午後3時25分まで
3 開催場所	長岡市立中央図書館 2階 講座室1
4 出席者名	(委 員) 恩田里士、酒井美通男、野澤麻美、淵本紀子、松本和明 吉原満、渡邊茂夫、渡邊誠介 (事務局) 若月教育部長、金垣館長、内山館長補佐、平澤庶務係長 松矢奉仕係長、田中文書資料室長 指定管理者：長谷川統括責任者、高橋総括チーフ 渡辺業務チーフ
5 欠席者名	委員 渡辺雅明、関川典子
6 議題	(1) 報告事項 ① 平成28年度の重点事業について ② 大手通表町東地区市街地再開発事業（仮称）の導入機能について (2) 協議事項 ① 平成28年度長岡市立図書館の活動評価（案）について ② 平成29年度の運営方針（案）について ③ 平成29年度の主な事業計画（案）について
7 審議結果の概要	●議題(1)について 若い世代から図書館をより利用してもらうための取り組み及び大手通表町東地区市街地再開発事業（仮称）の導入機能について承認した。 ●議題(2)について 事務局提案のとおり決定した。

8 審議の内容	
事務局・館長補佐	<p>ただ今から、平成 28 年度第 2 回長岡市図書館協議会を開催いたします。本日の進行役を務めます中央図書館の内山と申します。よろしくお願いいたします。開会にあたり、若月和浩・教育部長があいさつを申し上げます。</p>
教育部長	<p>教育部長の若月でございます。第 2 回長岡市図書館協議会の開催に当たり、一言ごあいさつを申し上げます。</p> <p>本日は大変ご多用の中、御出席いただきまして誠にありがとうございます。委員の皆さまからは、今年度、展示会や各種講演会、研修などに積極的にご参加いただき、誠にありがとうございました。</p> <p>さて、2月2日に「大手通表町東地区に北越銀行の参画が決定したこと、リノベーションを用いた長岡発の再開発を検討していること」について市長記者発表がありました。再開発事業ですので、今後地権者との協議を進める中で、まちなか図書館についても検討されるものと考えております。</p> <p>本日は、図書館の活動について事務局が評価した内容について皆さんからご意見いただき、また、平成 29 年度の予算も発表されたことですので、今後の運営について皆様にお示しし、忌憚のない御意見を頂ければと思います。本日はお忙しい中ではありますが、よろしくお願いいたします。</p>
事務局・館長補佐	<p>若月部長はこの後、別の公務のため、ここで退席させていただきます。本日は渡辺雅明委員、関川典子委員が御欠席です。議事に入る前に、事前に配布しました資料の確認をお願いいたします。</p> <p>まず、会議次第。次に委員名簿。次に座席表。次に、右肩に報告事項①と記載された「若い世代から図書館をより利用してもらうための取り組みの報告」。その次に右肩に協議事項①と記載された「平成 28 年度長岡市立図書館活動評価（案）」。次に協議事項②と記載された「平成 29 年度の運営方針（案）」。次に協議事項③と記載された「平成 29 年度の主な事業計画（案）」。以上となります。</p> <p>なお、追加していただきたい資料は、報告事項②「大手通表町東地区市街地再開発事業（仮称）の導入機能について」です。</p> <p>本日の議事を中心は、平成 28 年度長岡市立図書館の活動評価です。皆さんの御議論の時間を多くとるため、事務局の説明は極力簡潔に行いたいと思います。また、第 1 回の協議会での御意見については、議事の中で対応を説明させていただくほか、平成 29 年度事業実施の際に考慮させていただきます。</p>

<p>委員長</p>	<p>それでは、図書館運営規則第 28 条第 3 項の規定により、渡邊誠介委員長から議長を務めていただくこととなりますので、ごあいさつに引き続き、議長をお願いいたします。渡邊委員長、よろしくお願いいたします。</p> <p>渡邊でございます。昨年は市長が代わるということがありまして、新体制のもとで長岡市の行政が動いていく中で図書館もいろいろな事業を展開してきたということで、重点事業について報告していただいて、事務局が評価した A、B、C という一次評価について、その評価で良いかどうかについて、皆さんから御議論をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。それでは議事に入ります。</p> <p>最初に、「(1) 報告事項 ①平成 28 年度の重点事業について」です。事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局・館長</p>	<p>報告事項①の資料を御覧ください。この報告事項につきましては、第 1 回目の会議で今年度の重点事項を説明させていただきました。その取り組みについては、この後の活動評価の中で説明させていただきます。ここでは、若い世代から図書館をより利用してもらうための取り組みについて、特に今年度、長岡市が長岡版総合戦略を展開していることを踏まえ、若者関係の事業を図書館としても進めたいと考えて実施しましたので、報告させていただきます。内容は 2 の主な取り組みの成果に記載している通りですが、2 年前に高校生のアンケートを取りましたが、長岡市では高校生の図書館の貸出カードの登録率が 20 パーセントくらいで、小学校、中学校に比べて低いこともありまして、長岡版総合戦略の中で目指している「若者がしっかりといろいろなことに参加する」ことのために図書館としては、基礎の部分をしっかり支えたいと考えております。</p> <p>2 の主な取り組みとして 3 つあげてあるのですが、一つは若者のしごと応援コーナーということで 1 階の奥の方に若者向けのコーナーを作って貸出をしています。冊数は約 460 冊程度ですが非常によく使われた本があり、よく出ていると考えています。2 番目は、ちょっと今までのイベントと違って、だれでも参加というよりは少し若い世代向けに対象を絞ったイベントということで「図書館からの挑戦状」というものを実施しました。具体的には、図書館の利用方法とかコーナーを PR するような問題を出題しまして、それを解いていく形で進んでいくものです。50 名ほどの参加を目標にしていたのですが、それを若干上回る参加があり、皆さん非常に楽しんでもらったと感じています。それから最後は、10 月に図書館のフェイスブックを開始し</p>

	<p>ました。やり取りをする形ではないのですが、週間の投稿リサーチ数、いわゆる見た数は、平均 60 件くらいです。毎月 20 パーセントほど数字が増えている状況で、本当に若者が見ているかどうかというのはわからないところもあるのですが、おいおいという形でやらせていただいています。最後は今後の課題なのですが、新聞にも載ったんですが、2月19日にハイブ長岡で、ながおか・若者・しごと機構が「長岡しごと体験ランド」という仕事をするというイベントをやらせてもらってそれをエリア内で使えるというイベントをやったんですが、図書館も「長岡ゆきしか図書館」として出店しました。これはどちらかというと小学生向けのイベントだったんですが、やはり、ながおか・若者・しごと機構が様々な若者向けの行事をやっている中でそこに図書館もしっかり連携して、うまく働き掛けられないかなということが一つの課題だと思っています。それからもう一つは、フェイスブックも含めまして、若者から興味を持ってもらうような今までの図書館のイベントとは違うような新しいことも継続して、実験的ではないですがやっていく必要があると考えています。説明は以上です。</p>
<p>委員長</p>	<p>ただ今の説明について、御質問、御意見をいただきたいと思いがいかがでしょうか。みなさんフェイスブックとか見られていますか。スマホお持ちの方は是非アクセスして見ていただきたいと思いがいます。</p>
<p>委員</p>	<p>(なし)</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは、その他の事項について事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局・館長</p>	<p>その他の報告事項②の資料を御覧ください。大手通表町東地区市街地再開発事業（仮称）の導入機能についてということで、先ほど若月部長からも、概要について説明があったのですが、ここでは少しダブる部分もあるのですが、2月17日に「まちづくり・新エネルギー対策特別委員会」という議会で報告された資料をもとにその部分を端的にまとめさせていただいたものを説明させていただきたいと思いがいます。このたびの北越銀行さんの参加を踏まえまして、人づくりと産業振興をささえる拠点という方針の一つが示されました。それから、3つにまたがる街区を一体的に整備するというのもここで表明させてもらっています。図面は先ほどのものを見ていただきまして、3つの街区をデッキなどでつないで1、2、3階など低層階にはにぎわいを創出する機能、高層階のところにはオフィスや業務機能を配置することが大まかに提案されています。もちろん、権利者が長岡市を含めて15名</p>

	<p>ほどいますので、十分そこはですね、協議をしていくことで具体的な配置が決まるものと思っています。めくっていただきまして、スケジュールなんです、来年度、都市計画決定をしまして工事が平成 32 年度からの予定になっています。これは順調に進んだ場合ですが、この間にまちなか図書館の基本的な考え方、構想を策定していくことになり、来年度以降それをやったうえで設計、工事と聞いております。</p> <p>それから施設の基本コンセプトということで、市長の方針として、長岡開府 400 年の記念事業の一つとして位置付けるということが表明されており、人づくり、産業振興を総がかりで支える地方創生の拠点『米百俵プレイス（仮称）』を整備という方向が定められております。それから先ほども説明したとおり導入機能ですが、低層階ににぎわいを創出する機能を配置する中で、人と人、人とまちを本でつなぐ「未来の人づくりと知の発信拠点 米百俵ライブラリー」を整備ということで、この下段の部分は以前説明した部分と大きくは変わっていません。ただ、若干、産業や人物との関連性を強めてほしいということでこの項目が入っています。なお、先ほども言ったとおり、具体的な内容については、再開発事業ということもありまして、部長が説明したとおり、地権者を含めてこれからの協議となります。市民の皆さんから主体的に参加してもらうためには、グループヒアリングとかワークショップ、それから当然この協議会からも御意見をいただきたいと考えておりますが、現時点で、具体的なことは示せませんが、しっかりと連携しながら進めたいと考えています。説明は以上です。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。ただいまの説明について御質問、御意見のある方はいらっしゃいますでしょうか。</p>
A委員	<p>図書館は入るのですか。</p>
事務局・館長	<p>もともとの再開発事業の出発点が、老朽化した互尊文庫を移転するということが大きな柱になっています。長岡市も権利者であり、旧大和のところの建物を長岡市が持っている関係もあって、互尊文庫を移転させるというのは 1 年位前に表明しています。今回はそのエリアだけでなく、範囲が広がったということで、改めて 3 つのエリアをどうするかというところを検討し直すことになったものです。市では、図書館を入れたいということは表明していますので、その方向で進むものと思います。</p>
A委員	<p>もし、できればですね、長岡市に 50 数年前に日本で初めての現代美</p>

事務局・館長	<p>術館というのがありました、図書館が入るのであれば、是非、「長岡現代図書館」という名称でお願いしたいのですが。</p> <p>市長はいろいろな機能を持ったものを作りたいと発言されています。現代美術館は、今の長岡商工会議所のところにありましたが、これからいろいろな意見を聞きながら、名称についても検討していくことになると考えています。</p>
委員長	<p>他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>(なし)</p>
委員長	<p>それでは、次に議事の(2)、協議事項に入りたいと思います。 まず、項目①「平成28年度長岡市立図書館の活動評価(案)について」、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局・館長補佐	<p>資料の協議事項①「平成28年度長岡市立図書館の活動評価(案)」を御覧ください。</p> <p>内容に入る前に、評価の方法について御説明をいたします。平成28年度の評価項目につきましては、昨年7月27日に開催した第1回協議会において、事務局が評価項目を提案し、委員の皆様から御意見をいただき決定したものです。</p> <p>御手元の平成28年度活動評価(案)には、事務局が評価したものを記載しております。本日は、この評価に対して委員の皆様から御審議をお願いし、いろいろな御意見をいただいた上で、協議会として評価を決定していただきたいと思います。なお、今年度から、できるだけ審議の時間を確保したいことから、重点事項2-3と2-5については一次評価のみとし、ここでは審議しないことも第1回協議会で決定していただきました。また、本日お示しした平成28年度の実績は4月から12月までの9か月分となっておりますが、本年1月から3月までの実績を加えた「平成28年度の活動評価」につきましては、来年度第1回目の協議会で御報告させていただきます。</p> <p>なお、審議の進め方については、渡邊委員長から皆様にお諮りしていただきます。委員長、よろしくお願いたします。</p>
委員長	<p>それでは、審議の進め方について委員の皆様にお諮りいたします。 最初に活動評価(案)の4ページにあります「基本評価」について御質問や御意見をいただき、評価を行います。その後6ページ以降の「重</p>

	<p>点事項評価」の項目ごとに評価を行い、最後に1ページにあります「評価の概要」について御審議をいただくという3つのステップで進めたいと思いますがよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>(異議なし)</p>
委員長	<p>なお、重点事項2-3と2-5については、審議しませんので、重点事項評価の冒頭で一次評価の結果を報告いただきたいと思います。</p> <p>また、図書館協議会としての意見につきましては、本日皆様から出された御意見を委員長の私が集約する、ということによろしいでしょうか。</p>
委員	<p>(異議なし)</p>
委員長	<p>ありがとうございます。それでは、最初に「基本評価」について、協議をお願いします。事務局から説明をお願いします。</p>
事務局・館長	<p>お配りしました協議事項①の4、5ページをお開きください。まず、この基本評価は、前年度、平成27年度の数値と比較し、その比率をA A～Cまで数字の見込みで評価しています。今年度が終わったあと数字が固まると少し最終評価の値が変わるものもあることを説明させていただきます。</p> <p>28年度については、全部で13の評価項目があり、A評価以上が6項目、こちらは昨年度の5項目より1項目上回っています。一方でB評価、こちらは昨年度の3項目から6項目に増えています。それから、昨年度無かったC評価が1項目となっています。このC評価というのは、実登録者登録率というもので、詳しくは後ほど担当から説明させていただきますが、必ずしも全国の各図書館が公表している数字ではなく、この数字を使っているところと使っていないところがありまして、なかなか比較分析が難しいということだけ私の方から説明させていただきます。現在の評価方法は、単純に言いますと前年度を上回らなければ悪い評価になる。いわゆる常に良い数字でなければA評価にならない評価方法でありまして、実際のところ平成27年度に新しい図書館システムを導入したことによって昨年度は各種数字が増えていて、その関係でその効果が若干薄れたこともあり、それから人口減少もありまして、昨年度との比較だと今年度の数字がこういう形になっている、というのが現状です。</p> <p>平成30年度が長岡市の図書館開館100周年、長岡市子ども読書活動</p>

<p>事務局・奉仕係長</p>	<p>推進計画の2次計画実施という年であります。図書館としては、この評価や課題をしっかりと分析して、平成29年度の取り組みに活かしていきたいと考えています。ただ、これも以前ご指摘いただいたことでもあるのですが、基本評価は、これまで継続した統計の数字で、数字によって評価が決まるもので、この後に評価してもらう事業評価と必ずしも連動していないという課題もあります。なかなか改善策が難しいこともあり、それについては検討して、次回に評価の方法や項目について、改めて提案させていただきたいと考えています。詳細については、担当者から説明させていただきます。</p> <p>一番上の項目の入館者数については、中央図書館のみの数値になります。これは、入口の自動ドアについたセンサーで計っているものなので細かいところでは正確ではないかもしれないのですが、ある程度の目安としてこちらを数字を使用しています。入館者は平成28年12月までが256,320人になっています。年間で一番多かった年は平成18年で入館者は39万人ほどでした。だんだん減ってこの数値になっています。</p> <p>その下の個人貸出冊数は、市内の図書館全館を合わせた貸出冊数です。予約件数もインターネットでのもの、窓口でのもの、市内の図書館で受けた予約すべてのものです。</p> <p>その下の有効登録者数と登録率ですが、これは長岡市民のうち、図書館の有効期限内の貸出カードを持っている人の数とその割合です。図書館の貸出カードは有効期限が3年間となっています。3年を過ぎて1年間更新の手続きをされていない場合にはそのデータを削除することになっています。有効期限内の貸出カードを持っている人が17.6パーセントになります。新潟市と比べると、新潟市は18.65パーセントでしたので、当市より少し多いことになります。</p> <p>その下の実登録者数ですが、これは有効期限内の貸出カードで年間1回でも借りた方の割合です。それが10.57パーセント。4月から12月までの間に1度でも本を借りた方の数字が10.57パーセント。貸出カードを持っている人の割合が17.60パーセントで、そのうち利用された方が10パーセントということになります。</p> <p>インターネットのアクセス件数ですが、これは平成27年2月に新しいシステムを導入し、ホームページもリニューアルしました。その結果、スマホ専用サイトのアクセス数を集計できない状況でした。そういった理由で、26年度から27年度に数字が減っています。27年度と28年度を比べると少し増えてきました。これは従来型携帯電話（ガラケー）の方、パソコンの方のアクセス数ということになります。</p>
-----------------	--

中央図書館の開館日数は 27 年度に比べると少し減っています。郷土資料の受け入れ数は、中央図書館のみの数値となっています。

その下の窓口対応満足度は、中央図書館で行ったアンケートの数値で、大変良いという評価と、よいという評価を足したものになります。

一番下の大活字本の所蔵数ですが、高齢者の方などに読みやすい活字の大きな本のコーナーを各館で設けています。おもに小説類が多いです。それから「白黒反転版」という地の色が黒くて活字が白く印刷されたものもあります。障害の具合によってはその方が読みやすいという方もいらっしゃると思います。児童書でも弱視の子どもさんのために大きな活字の本を購入しており、青い鳥文庫の大活字本なども購入しています。これは、これからの高齢化社会に向けて、大変ニーズの多いもので充実させたいということで、評価項目として加えてあります。こちらでも 27 年度より所蔵冊数が増えています。

5 ページの一番上の、新規購入冊数・割合です。これは図書館の蔵書の新鮮度を計る目安です。新規購入冊数が全蔵書の中でどれくらいの割合かを示してあります。冊数なので細かいことを言うと、文庫本などがたまたま多いと冊数が増えるということになります。

28 年度は 2.9 パーセントが新しい本が入った割合ということになります。こちらでも新潟市と比べてみますと、ほんぽーと（中央図書館）だけで 483,000 冊所蔵されていて年間新規購入冊数が 27 年度、25,000 冊で新鮮度は 5.24 パーセントでした。

貸出カードの登録率と貸出冊数が減少傾向にあります。貸出冊数が一番多かったのが平成 21 年、173 万冊が貸出されています。それから減少傾向にありましたが、平成 27 年度に少し増えましたが 28 年度にまた少し減少傾向にあります。ジャンル別に見ますと、減っているのが郷土資料で昨年度比 87.6 パーセント、美術関係 92 パーセントとなっています。逆に増えているのは、図書館入って左側の専門書のコーナー、参考コーナーが 106 パーセント、雑誌が 102.6 パーセントと増えています。子ども向けの本が 101 パーセントとほぼ横ばいという傾向です。利用が減っている理由を考えると、日頃図書館に行かない市民に行ってみようかなと思わせるような PR（報道）がされていない、きっかけが作られていないなどのことがあるかと思います。貸出カードを持っている市民は約 17 パーセントで、全国平均では約 20 パーセントです。また、貸出カードを持っていても継続的に利用されていないのは魅力に欠けているためと思われます。

対策としましては地道なことですが、日々の本棚の手入れ、古い資料を取り除いたり新しい資料の並べ方にも工夫をする、ということがあると思いますし、選書、どんな本を買うかということについても、

事務局・庶務係長	<p>市民のニーズに合っているかや収集方針の見直しなどの取り組みが必要だと思います。それからテーマ本を展示するなど蔵書の魅力をアピールすることも必要だと思います。職員の資質が図書館サービスの質に影響することも大きいと思いますので、職員研修ですとか職員の意識を変える対策も必要だと思います。①1の利用状況は以上です。</p> <p>続いて②の運営状況について説明します。平成26年度、27年度につきましては決算額を示してあります。平成28年度は当初予算額を示してあります。予算額と決算額を比較することは難しいことですので来年度第1回協議会では28年度決算額をお示しできると考えていますのでその時に説明いたします。以上です。</p>
委員長	<p>ただいま、基本評価について説明があったわけですがけれども、御質問、御意見のある方いらっしゃいますでしょうか。人口が減り始めている都市だから、なかなかAAに全部なるというのは難しいと思うのですが。</p>
A委員	<p>これは生データですね。この数字からどんなことを読み取るのか。館長はどう読み取っていますか。</p>
事務局・館長	<p>新潟県立図書館では、入館者数を一番の目標にしています。理由は、県のビジョンの中に、県立図書館は入館者数を何万人にしたい、という目標を掲げているためです。たくさんの人たちから来てもらうことを政策の柱にしています。新潟市は、図書館の評価のほかに行政評価でそれぞれの目標値を3つくらい設定していて達成できなければすべてC評価、いわゆるだめだという評価で、新潟市に関してはこの指標項目は非常に高い目標を設定しているので、すべてほぼC評価になっているとお聞きしています。</p> <p>長岡市は前年度と比較していて、目標があってそれに対してどうかという評価ではないこともあって、たとえば入館者数が増えたり減ったりするのは、実は大きなイベントがあって増えたとか、その年によってぶれていて、微減しているのが何が原因なのかということ进行分析していません。目標数値を定めて、それに向けて活動を展開し、目標に届かなかった理由は何なのか、課題は何なのかという形ではないと、ちょっとこの数字をそれぞれやっても、実際あまりよくわからないということが正直なところと考えています。</p>
A委員	<p>データというのは、評価も当然そうでしょうが、データが何をしゃ</p>

事務局・館長	<p>べっているのかを読み取ることが大事ではないでしょうか。</p> <p>全国の図書館の中には、今月は社会科学関連の貸出しが少ない、その原因は何かと分析しているところもあります。貸出しが少なくなった原因を分析し、原因がたとえば、棚の配置なのか、本なのかであれば、そこら辺を見直すというところは、常にしていかなければならないと思うのですが、残念ながらできていないのが現状です。</p>
委員長	<p>館長をフォローするわけではありませんが、私も委員長を長くやっております、当初、活動評価をするためにかなり多くの項目を作っていましたが、評価のための評価作業になっていた。それは意味がないだろうということで、項目を少なくしつつ、データで出るものと、重点事項でこういった活動をしていたんだという、いわゆる量と質で表現されるものを全体で見てトータルで評価しようという建てつけにして、かれこれ何年も経ちます。これは数字として経年変化も見つつ、もちろん人数とか冊数、これらが増えれば利用をよくされていることにつながりやすいデータではあり、公共の図書館のやっている事業をプラスに考えるか、マイナスに考えるかという評価として使用しています。</p>
事務局・館長	<p>A委員がおっしゃるとおり、できれば数字を細かく、しっかり検討すべきであると認識していますので、今後の課題とさせていただきます。</p>
委員長	<p>基本評価については、数値で客観的に評価しているので、図書館の評価で良しとしたいのですが、よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>(異議なし)</p>
委員長	<p>それでは、次に「重点事項評価」について協議をお願いします。最初に、重点事項2-3と2-5について、一次評価の結果を報告願います。</p>
事務局・館長	<p>2-3、2-5ともAとなっています。2-3につきましては、市民の要望や意見を広く取り上げ図書館運営に反映させるということで、その要望の中で大きなものについては、平成29年度に取り組むものがありますので、協議事項3で説明させていただきます。</p> <p>2-5については、勉強会や職場内研修をはじめ様々な研修機会を確保し、図書館職員の資質の向上を図るということでこれについては</p>

	<p>市民の要望も聞きながら引き続き取り組んでいきたいと考えております。</p>
<p>委員長</p>	<p>ただいまの説明について御質問ある方いらっしゃいますでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>(なし)</p>
<p>委員長</p>	<p>やるべきことをしっかりやっているということでA評価ということですね。</p> <p>それでは、重点事項評価の審議に入ります。重点事項評価「2-1 当市をはじめとする郷土に関する各種資料等の収集・保存・活用に努める。」について事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局・奉仕係長</p>	<p>それでは2-1ですが、重点事業が①から⑤まであります。資料の9ページを御覧ください。①貴重資料の公開。これには長岡ネットミュージアムと中央図書館のエントランスでの資料の展示があります。ネットミュージアムは現在約170点の貴重資料を公開しています。年間、10点から15点くらいの資料を追加しています。今年も、3月末までに追加予定となっています。これによって、市外の研究者が図書館まで来なくても資料を確認することができますし、出版社から本に掲載したいという申請もいただいております。課題としましては、ネットミュージアムの分類が塵壺とか軸物とか北越戊辰戦争、藩校崇徳館などの分類ごとに表示されているのですが、検索機能がないことと、少し整理した方が見やすいのではないかと考えています。軸物の中でも書もあつたり、軸として仕立てられたものなので書もありますし、絵もあつたり手紙もあつたりして、整理した方がいいと思っておりますが、なかなかできていないのが課題です。エントランス展示もあまり長くなると、資料の保存状態に良くないということで短いスパンで展示をしております。今年、堀口九萬一の書や山本老迂斎が描いた「雨龍」、井上円了や小林雄七郎など長岡の先人の方の作品を展示しています。エントランスは必ずお客様が通られるところなので、多くの方が御覧になられています。ということで、この①の評価はAとしたいと思います。</p> <p>続いて10ページ、郷土資料の充実です。図書館の使命の一つとして地域の歴史資料について保存・活用することがあります。購入予算も一般の図書館の購入費とは別の予算を確保しています。長岡市や長岡周辺についての情報は本だけでなくチラシやパンフレットなども収集</p>

<p>事務局・室長</p>	<p>しています。新刊図書のほか古書店やインターネットで購入する事もありますし、自費出版のものもあります。市役所や支所が発行した統計資料などは寄贈をお願いしています。ここで、郷土資料の購入点数は増加しているのですが、貸出冊数は減少していることを先ほど説明しましたが、郷土資料の性質上、10年後20年後、時間が経ってから価値が出てくるものが多いと思っています。50年後、100年後の図書館でどのような資料が貴重になるか、必要とされるかという視点で資料の収集にあたりたいと考えています。こちらも順調に購入を進めたということで評価をAとしたいと思います。</p> <p>それでは11ページ、③以降については文書資料室、田中の方から説明させていただきます。③は、古文書等の歴史資料の収集・保存・活用です。文書資料室は互尊文庫の中にありますが、長岡市史編纂室という歴史を引き継いでおりますので、③の事項は元々の基本になる業務と考えております。特に古文書ですので、昔の方が系譜を記されたもの、最近はもう、ほんとに、きのうの資料までも含めてということになりますので新しい資料も含めた歴史資料を収集・保存・活用する活動です。</p> <p>今年度はですね、特にいろいろな新しい資料の受け入れがありまして、21件の資料を新たに公開しました。加えてまだ未整理のものがありまして、こちらは今整理に取り組んでおります。これらを活用しまして、様々な普及活動、講座を組んでおります。古文書解説講座、市史双書を読む会、歴史資料保存講座、この3本が主な講座になります。</p> <p>特に古文書講座につきましては、大変人気がありまして、定員を軽く超えてしまう状況で、人数が増えることで、講師から遠くなり、参加者の満足度が落ちる可能性があるということで、この辺はいつも悩みでもあるのですが、去年は講師及び職員と相談しまして、定員を見合っただけに設定することで参加者の満足度を上げようということにした。入門と一般合わせて9回の講座をしております。</p> <p>市史双書を読む会ですが、長岡市史編纂室から引き継いだ本を刊行するという、まさにその本を活用した講座で、こちらも平日ですが、延べ約200名の皆さんから3回にわたって中央図書館で参加をいただきました。</p> <p>課題としましては、12ページに書いてありますが、特に資料の保存については非常に地道な活動ですし、今、所蔵者の方が代替わりや家の建て替えがあり、それを個人で維持するのは難しい状況があり、非常にニーズが高まっていることもあります。ただ、裏返して古文書講座の人気が高いということは、この分野に関する市民の興味・関心が</p>
---------------	--

高いということが、ある意味心強いところでもありますので、これらを取り入れながら、この活動をさらに展開していきたいと考えております。評価につきましては、Aでお願いします。

それから13ページ、④です。歴史公文書の収集・保存・活用です。こちらにつきましては、市役所の行政的な資料の収集・保存・活用の取り組みです。今回初めて項目を分けて評価設定をしました。こちらについては「現用」と言いまして、今使われている公文書を所管している長岡市の庶務課との連携が非常に大事になっているのですが、今、庶務課の方とも順調に連絡が取れておりますし、公文書ができてから保存に至るまでの流れをよりスムーズにできるようにということで取り組んでいます。写真は保存箱と整理の作業でして、これが通常の文書資料室のいわゆる閲覧室ではないところでの基本的な活動の様子で、左側は歴史公文書の山積みの箱そして右側の写真は金具類を、公文書には金具類がありまして、それをそのまま保存しますと錆ついて資料に悪い影響を与えるということで、一つ一つ手作業でホチキスやクリップなどをはずす、こういう地道な活動をしております。1月現在で約60箱、最終的には120箱くらいになるのではないかとということで取り組んでいるところです。こちらの方はこの次で御説明しますが、歴史公文書については、災害関係のものは数値を分ける形にしておりますので、その点は次のところで説明したいと思っております。やはりこちらは作業、それから保管場所との戦いというところもありますので、課題としては、保管場所を確保していくことも挙げさせていただきたいと思っております。評価としてはAということでお願いします。

それから14ページ15ページの⑤になります。長岡市災害復興文庫の収集・整理・保存・活用です。こちらの方は、平成26年度に立ち上げた災害復興文庫、中越大震災以来の救出した歴史資料と震災に関する資料、それから今年度は、先ほど申し上げたように公文書を災害に関するものを切り離しまして、ようやく今年からですね3本の柱といいますか、歴史資料と災害に関する資料とそして公文書というこの3本の柱で整理の活動を続けています。事業的なこととしましては、10月にですね、中央図書館の1階のエントランスを会場にしまして、災害復興文庫展を開催しました。こちらの事業の方でも通年のテーマでもありましたが、東日本大震災から昨年3月で5年経つということで、福島県との連携が一つのテーマになりました。具体的には、災害復興文庫展の展示会におきましては、南相馬市立中央図書館から資料を借用し、それから福島県立図書館の東日本大震災復興ライブラリーの資料をお借りして展示するなど、講師等で福島の方に来ていただくことで「絆の記憶と記録」をテーマにしながらか展示会を開催しました。そ

	<p>して関連といたしますか、このほぼ同時期に横浜で開催された第18回図書館総合展に初めて出展しました。こちらについては災害復興文庫を知ってもらうためということで、右側の写真のようなブースを設置しました。事務局の御配慮かもしれませんが、たまたま熊本の図書館のブースと並べていただきまして、図書館と震災というテーマでブースが二つ並びました。そういう意味でたいへんよかったかなと思います。それからもう一つはですね、これは思わぬ効果だったのですが、長岡大花火というのぼりを立てたせいなのかもしれないのですが、東京方面で御活躍されている図書館の職員で長岡市出身や新潟県内出身の方、同じく出版関係の方がどんどんこのブースに来ていただいて、懐かしいということがあったり近況を話してくれたり、ある意味シティプロモーション的な意味合いも少し持てたかなと思っています。併せて本の売り上げがありましたので、この図書館総合展の発信は非常に効果的だと思います。来年度、これからにつきましては、図書館総合展を含めたいろいろな発信がだんだん広がりがあって、反響がありますので、これらを活かして、逆に市民の皆さんから知ってもらう工夫が課題かなと思っています。評価につきましてはAということでお願いします。以上、説明させていただきました。</p>
事務局・奉仕係長	<p>それでは、7、8ページをご覧ください。重点事項評価の事業別評価は事業の①から⑤までをAとしています。総括評価も、貴重資料を有効に展示活用するとともに、話題の本も含め幅広い郷土資料の収集に努めた。また、長岡市災害復興文庫事業を推進し、長岡市資料整理整理ボランティアとの市民協働、全国の関係機関・団体との連携、第18回図書館総合展への出展などをおして、長岡市の災害と復興の経験・教訓を全国発信し大きな反響があった。ということで総合評価をAとさせていただきたいと思います。説明は以上です。</p>
委員長	<p>ただいまの説明に対して、御質問ある方いらっしゃいますでしょうか。</p>
委員	<p>(なし)</p>
委員長	<p>では、御意見のある方いらっしゃいますでしょうか。</p>
委員	<p>(なし)</p>
委員長	<p>では、この項目に対して図書館の評価がAですが、我々として</p>

委員	もこれでよろしいでしょうか。
委員長	(異議なし)
事務局・奉仕係長	<p>それでは次、重点事項評価の2-2課題解決に向けた資料及びサービスの充実を図る、について説明をお願いいたします。</p> <p>2-2では二つの事業について報告させていただきます。資料は18ページ、19ページを御覧ください。中高生向け図書館しごと応援事業については先ほど報告事項①の中でお話しさせていただいておりますが、図書館で中高生向け等若い人向けのコーナーを作っているところは大変多いのですが、その中で仕事に関することだけを別に置いているところは大変珍しいそうです。この写真をフェイスブックで見た高知県立図書館の方から連絡があって、これは大変良い試みなので、中国・四国地方の図書館職員の研修に写真を使っていいかどうかという問い合わせがありました。それから本と合わせてデータベースを2件導入しています。ジャパンナレッジという百科事典系のデータベースと日経の雑誌記事が検索できるデータベースを導入しています。これを是非中高生に知ってもらいたいと思って、職場体験ですとか、夏休みのボランティアに参加した中高生に、もれなくこれを使ってもらいました。たとえば法律系のデータベースがあるので、選挙権が18歳になりましたがそれを決めた法律は何という名前の法律でしょうかとかそういった問題にチャレンジしてもらいました。そして、この①の事業については評価をAとさせていただいております。</p> <p>続いて19ページの庁内行政レファレンスですが、これは市の行政に関する調査について図書館資料を用いて支援することで図書館の有用性をアピールしたいということで始めました。これは豊中市が8年も前に始めているということで、いろいろお話をうかがって参考にして始めたものです。図書館には古い新聞や法律系のデータベースがあることを市の職員向けポータルサイトにお知らせとして掲示し、様式集にメールで送ってもらうような様式を掲載しました。少し時間がかかってしまい、2月から始めたのですが、各課から寄せられた問い合わせの件数は、今のところ5件となっています。まず、長岡市の職員に図書館は本を借りるだけではなく、調査ができるところ、仕事に役立つことをアピールしたいことと、いろいろな照会に対応することで図書館職員のスキルアップにつなげて、これからのビジネス支援サービスにつなげたいというねらいがあります。ビジネス支援に関しては普段窓口で受ける先祖調べだとかこの古文書について知りたいとかいっ</p>

<p>委員長</p>	<p>た問い合わせとは全く別の、この製品の市場規模を知りたいとか次元が違う質問があり図書館職員のスキルアップが必要ということを感じています。ビジネス支援の関係では2月27日から2名を研修に参加させる予定です。この②の項目については、開始までに時間がかかったということで評価をBとしたいと思います。総括は16ページ17ページにまとめてあります。①がA、②がB、総括評価としてはAと考えております。2-2の説明は以上です。</p> <p>では、質問を皆さんから受け付けたいと思いますが、その前に私自身がお聞きしたいと思います。課題解決に向けて資料・サービスの充実を図るということですが、①、②この二つはどういう課題だったか再確認させてください。</p>
<p>事務局・奉仕係長</p>	<p>①は、小学生、中学生が将来の仕事を考えるような課題とか、職場体験に行かなければならないのだがどうしたらよいかとかそういった悩みごとに対して答えとなるような本を示せることで課題解決する。②の庁内行政レファレンスの方は、市役所の職員が政策に関して調べ物をしているあるいは、参考となるような資料やデータがないかという課題に対して図書館が解決の方法を提示する、支援をする、資料提供をするといったことを目的としています。</p>
<p>委員長</p>	<p>ただいまの説明について御質問をお受けします。</p>
<p>B委員</p>	<p>②の評価がBなのですが、これは図書館の側が準備が遅れたということなんでしょうが、市のほかの部局が図書館を使ってまさに課題解決や政策提言立案等々にあたって積極的にかつ多面的に活用することは、図書館の課題であるとともに長岡市役所全体の課題でもあると思います。だから、図書館が手間取った部分はあるにせよ、B評価は辛いのかなと思います。それから19ページに例)が記載されていますが、正直、これくらいのことなら自分で調べろよ、と言いたい気がします。図書館以外の部局の意識がまだまだ低いという印象を持ちます。だから、こちらというより市役所全体の課題ではないかと考えました。しかし、別にB評価をA評価に変えろという話ではないですが。受け入れる側の問題が大きいのではないかと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>近年、大学の図書館も学生たちの利用が非常に減っている中で、たとえば我々が宿題だとか課題だとか出したときに、グループワークとかこんなのあるとかいって図書館でわいわいしゃべったり、AVだ</p>

	<p>とかインターネットとか使いながらぐじゃぐじゃやりながら、こっちにこういうアイデアがある、こっちにこんなやり方があるということをやるときに図書館の人もスッとこういうのを出して、こんなものもあるよと出してきて、ラーニング・コモンズという言い方があるのですが、あれ、学校教育機関の図書館でかなり流行っているものではあるのですが、レファレンスとして役所の方がこういうのどうかと見にいくだけではなく、課題解決でたとえば行政の課題として、これ難しいなと従来型のマニュアルをさがすだけでは解決できないようなものだったら、たとえば今の大学のラーニング・コモンズのようなアプローチで、そこに、もしかしたら守秘義務とか関係なければ民間の人も入ってとか、住民の皆さんの意見も聞いて、ワイワイグジャグジャやりながらというところに図書館の方もアドバイスするなんていうようなことが理想ですけど、できたらいいような気がするんですよね。</p> <p>そうすると、大学でラーニング・コモンズをする図書館の空間を作れているところと、そうでないところというのは基本的にスペース、うるさくなるので、そういう風に自由に使える空間、飲み食いをしながらやっていくんですよ、そういうことができるかどうかがあるので、ここの図書館の建付けだとそんなことなかなかできないというのがあるんですけど、課題解決に向けた資料及びサービスというようなことをとことん追求していくと、今はたまたま行政の方が対象の話になりますけど、何となくそういうような方向性に将来的になっていくのではないかという気がするんです。長い目で見て図書館関係者や行政の方も留意していただければと思うのですがいかがでしょうか。</p>
事務局・館長	<p>課題解決に向けた報告というのは、①も②もまず図書館としてできるものというものを挙げています。これが進めば、委員長がおっしゃるように、たとえば課題は農業だと絞れば、農業関係の課題を特記して、その資料や関係団体と話しあう機会だとか、そういう地元の課題を見い出して進めていくことも、将来的にはありうると考えています。ただ、現在はそこまで取り組みが進化していないので、御意見を踏まえ、この経験を蓄積して、将来的には地域の大きな課題の解決に貢献できればと考えています。</p>
委員長	<p>それでは、2-2の活動評価はこのままでよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>(異議なし)</p>
委員長	<p>次に、重点事項評価「2-4 積極的な広報や各種機関などとの連</p>

<p>事務局・奉仕係長</p>	<p>携を深め、本と人をつなぐ、様々な事業を実施する。」について事務局から説明をお願いします。</p> <p>2-4は①から④まで重点事業があります。では①から説明させていただきます。資料の28ページを御覧ください。これは、長岡市制施行110年のあゆみ展です。こちらの展覧会は7月23日から8月7日まで15日間の会期で、2,552人の方々が御覧になりました。内容としては明治39年に長岡市ができてから現在までを写真と本や資料などで振り返ったものです。市役所の建物の移り変わりですとか、長岡市の市章の変遷や公会堂や厚生会館の建物、それから長岡まつりの歴史を振り返るような展示でした。関連行事としては松本先生をはじめとする5人の外部講師の方に展示解説をお願いしましたし、展示を担当した職員による解説も行いました。長岡ゆかりの映画会では、長岡がロケ地となった、悠久山や観光会館が映った小林旭や舟木一夫が出演する映画を上映しました。こちらについては評価をAとしています。</p> <p>続いて、②各種機関と連携した事業の実施ですが、東日本大震災に関して福島県立図書館の災害復興ライブラリーから本を借りて展示しました。また、1月、2月は県立歴史博物館の「すてきな布アンギン研究100年」という展覧会とコラボして民俗などの関連資料を展示しています。それから、2月に大手通商店街などで行われたたくさんのお店でゼミナール、ミニ講演会が行われた「まちゼミ」について紹介する関連本のリストを作っています。それから「まちぼん」ですが、これは昨年、5つの公共施設でまちぼんとして設置しましたが、今年は2か所、タニタカフェとまちなかキャンパスに設置しています。今ちょうど、まちキャンでは、大手高校と長岡高校の図書委員のおすすめ本を手書きのポップですとか図書委員会の紹介パネルを置いて展示をしているところです。こちらの②の事業も一定の成果を上げることができましたので、評価をAとさせていただきます。</p> <p>つづいて31ページの子ども読書活動推進計画関連講座の開催です。左側の写真は、教えて！南極の秘密という事業で、これは、市内の大原鉄工所をお願いして、雪上車が南極に派遣されたというお話をしていただき、国立極地研究所の協力を得て、南極の氷を送っていただいて、水をかけて空気のはじける音を聞いたということで大変充実した内容になりました。それから防寒具もお借りして展示して、子どもたちが本物に触れる機会となったと思います。行事に合わせて図書館職員が南極のことをもっと調べたい人はここにいますというような説明とクイズを出して、後日クイズの答えを提出した子どもに景品を渡すというイベントもしました。</p>
-----------------	---

<p>事務局・統括責任者</p>	<p>それから保育園に出向いての絵本講座については、「長岡市子ども読書活動推進計画」ができた時から毎年1回、関係課がワーキングで情報交換をしていますが、その時に保育園でも保育士の先生方が絵本の読み聞かせが大事だと思っけていてもなかなか研修時間が取れなかったり、ベテランの保育士が退職して経験の浅い保育士に技術を教えられないというお話があつて始めたものです。これは平成27年度、32ページに実施回数を記載してありますが、27年度から始めたものですから、最初は18回と回数が多かったですが、今年は8回と減つております。内容としては好評いただいております、すでに29年度の依頼もいただいております、29年度は園長先生が集まる園長会議で絵本講座をしてほしいといったような依頼をいただいております。こちらの③の評価もAとさせていただきたいと思つています。</p> <p>次に④地域館における特色資料や地域の特色を生かした事業の実施について御報告させていただきます。33ページを御覧ください。</p> <p>今年度は主に地元地域に関連した行事の取り組みと自主事業として毎年取り組んでいる図書館を使った調べる学習コンクール地域コンクールの規模拡大を図るといふことに力を入れてまいりました。まず、地域性を生かした事業の実施につきましても、写真で紹介していますように中之島地域図書館の六角凧の絵付け体験、これは中之島凧組合の協力を得て実施しました。それから西地域図書館で実施した「しなのがわたんけん」では、信濃川河川事務所と連携して実施する機会を得ました。その他、資料展示行事として、図書館近隣の中越高校や長岡戦災資料館から御協力いただけて、県内の花火大会の事務局などから作品を提供していただきました。昨年度課題でありました募集定員増加のイベントを再検討しまして、新しい広報を作る上での情報提供、図書館近隣の保育園、学校、施設のチラシ配布など細かな周知を重ねた結果、申し込みが増えまして、定員割れすることが無くなりました。</p> <p>今後も図書館事業に関心を持っていただける学校、施設、団体とつながりを深め、地域の伝統や活動に理解を深めてもらえるよう行事の提案を考えていきたいと思つています。</p> <p>34ページを御覧ください。図書館を使った調べる学習コンクール地域コンクールにつきましても、今年度、事前説明会とサポート教室を中央図書館でも開催しまして、近隣小学校への働きかけが強化された結果、市内小学校16校、42作品の応募がありました。昨年度に比べますと、参加校数、作品数とも増加しました。子どもたちが調べ学習に興味を持ち、良い傾向であるという評価をいただきました。今後の課題といたしましては、その年によって応募数に差があるため、安定し</p>
------------------	--

事務局・奉仕係長	<p>た作品数を集めることができれば、学年ごとの審査も考慮していきたいと思っております。そのためにはまずサポート教室や窓口対応で分かりやすい説明や事業案内を行い、応募作品数を増やせるように努めてまいります。説明は以上です。</p> <p>それでは、2－4の重点事項評価の総括が26、27ページになります。①から④までの評価をAとし、総括評価もAとしたいと考えています。説明は以上です。</p>
委員長	<p>ただいまの説明に対して御質問、御意見のある方がいらっしゃいますでしょうか。</p>
C委員	<p>保育園の先生が読み聞かせをしてくださるのですが、先生方が図書館の職員から教えてもらっていることを知り驚いている。保育士さんも一所懸命勉強されていることを知り、こういう活動は大変良いと思います。</p>
委員長	<p>従来の図書館の活動から外に出ていろいろな活動をしていて、これは当然A評価だと思うのですがよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>(異議なし)</p>
委員長	<p>それでは最後になりますが、重点事項「2－6 利便性の向上を図り、快適な環境づくりに努める。」について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局・奉仕係長	<p>事業は、①から③まであります。43ページを御覧ください。これは、小さなお子さんを連れた親子連れに対するサービスの提供です。これは今年始めたものばかりではありません。もともと、各地域図書館も含めて読み聞かせを行っていますし、写真にあるような子ども向けのイベントも行っております。セルフ貸出機が使えるように小さなステップを用意したり、中央館ではボランティア室を授乳室として使っていたりしています。小さな子ども用のカートを今年度1台、購入し、写真のように小さな子が使っています。それからおやこタイムについてですが、これまでの状況をお話しますと、御意見として寄せられたのが、子どもを連れていったら大きな声を出したため職員に注意され、もう二度と子どもを連れて図書館には行けないというものがありました。一方で、図書館で子どもが騒いでいるのに職員が注意しない、もっと注意してほしいという投書もありました。図書館は静か</p>

<p>事務局・庶務係長</p>	<p>な場所であると考えている利用者の方も多いと思います。図書館としては、公共の場でマナーを子どもたちに教えることは大事だと考えていますが、大人と親子とが少し歩み寄って、少しぎわついても温かい目で子どもの成長を見守ってはどうかと考えております。大人の方には子どものざわざわした声を少し多めに見ていただき、保護者の方には図書館を子どもに公共のマナーを教える場所として活用してもらいたい、そしてみんなで子どもの成長を見守る、という図書館でありたいと考えております。そして、おやこタイムを金曜日の午前中に実施しております。この反響については、まだよく知られていないこともあると思いますが、一般の利用者の方からの苦情も特になく状況です。こちらについては評価をAとしたいと思います。</p> <p>続きまして44ページを御覧ください。②快適な環境づくりについて御説明いたします。今年度の当初にベンチテーブルとプランターを中央図書館の前に設置しました。多くの方々に御利用いただきました。見えていますと、本を読んでいたたり休憩をしたり、中には学生さんが学習をしたりしている姿が見受けられました。また、試験的に7月8月9月、各月1回、移動販売車から来ていただきました。左の写真にあるとおり、ガンジージェラートさんに来ていただきました。図書館の行事に合わせてきていただいたために、多くの方々に御利用いただき、好評だったと思います。こられた方にお話を伺いますと、道路を通った時にちょうど看板が見えたので入ってきてみた。今まで図書館に来たことは無かったのだが、アイスクリームが食べたくて来てみた。帰りに図書館に寄ってみようと思うという方がいらっしゃって大変いいことだなと思っております。課題としましては、移動販売車は多くの方から御利用いただきまして、椅子が足りず立ったまま召し上がっている方が見受けられたので、来年度は人数を見ながら臨時的に設置できるベンチを準備したいと考えております。引き続き、移動販売車に来ていただけるよう声かけしたいと考えております。こちらの評価はAとさせていただきます。</p>
<p>事務局・奉仕係長</p>	<p>続いて45ページの③館外サービスの充実と利用の拡大を図るです。これは図書館がない地域を中心に米百俵号、バスの図書館2台が市内を回っています。昨年度は駐車場所が100か所でしたが、今年度は102か所で年21回巡回しています。この中で、小学校、保育園が駐車場所になっているときには、読み聞かせやブックトークなどを併せて行っています。夏休みの期間には小学校や児童館など6か所で米百俵号ブックカーニバルを実施しました。読み聞かせのほかにスライムづくり、</p>

	<p>パネルシアター、本の貸出を行っております。そのほか年間を通じて、希望のある小学校 42 校に対して、1 クラス 40 冊を箱に入れて、年 2 回入れ替え方式で貸出をしています。これもたいへん好評をいただいております。こちらの評価も A としたいと思っております。</p> <p>2 - 6 の総括評価は 41 ページ 42 ページにあります。①から③の事業別評価を A とし、総括評価を A としたいと思っております。説明は以上です。</p>
委員長	<p>ただいまの説明に対して御質問、御意見のある方がいらっしゃいますか。</p>
E 委員	<p>③館外サービスの充実と利用の拡大を図るにかかわりまして、市内小学校 42 校ということで、大変ありがたく思っております。いま、試験的ということですが、私の学校で造形大学と森林組合と本のコンテナの収納ボックスを試験的に貸し出していただいております。ひとクラスだけなんですけれども、見た目がずいぶん変わりますし、そしてまた、子どもたちの評判もいいと担任から聞いています。ぜひまた、こういった点も含めて環境整備を進めていただければありがたいと思っています。</p>
委員長	<p>通常の青いプラスチックのコンテナに入れるのではなく、木の家のような形にデザイン的に開発したんですね。杉の間伐材を利用していろいろな機関と協力して作ったものです。</p> <p>これも A 評価でよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>(異議なし)</p>
委員長	<p>以上で、平成 28 年度の活動評価につきましては、全ての項目に対する評価が決まったわけですが、ここで 1 ページの「評価の概要」について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局・館長補佐	<p>皆様、ありがとうございました。</p> <p>皆様の審議の結果を反映して、全体の活動評価を述べさせていただきます。</p> <p>1 ページの評価の概要を御覧ください。基本評価は、評価対象の 13 項目中、6 項目が A、AA 評価となり、昨年度の 5 項目を上回る結果となったが、一方 B 評価が 6 項目と昨年度より 3 項目増え、昨年度は無かった C 評価が 1 項目発生した。</p> <p>重点事項評価は、事業別評価の 19 項目では、B の評価が 1 項目あ</p>

<p>委員長</p>	<p>った他はすべてAの評価となった。また、総括評価では、すべてがAの評価であったことから、全体としては、優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている。以上です。</p> <p>ただいまの説明に対して御質問、御意見のある方はいらっしゃいますか。それではこの内容でよろしいですか。</p>
<p>委員</p>	<p>異議なし</p>
<p>委員長</p>	<p>各項目の図書館協議会の意見については、本日の議論・意見を踏まえ、私と事務局でまとめさせていただきます。</p> <p>それでは次に、協議事項の②平成29年度の運営方針（案）について事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局・館長</p>	<p>資料の協議事項②を御覧ください。表面が平成29年度長岡市立図書館運営方針（案）でありまして、裏面が参考に昨年度のものを記載してあります。説明の際には見比べていただければと思います。</p> <p>それでは、まず表面の説明からさせていただきたいと思います。</p> <p>まず、1番の運営方針、3の指定管理者制度に伴う運営の基本方針については、平成30年度が図書館開館100周年、それから「第2次長岡市子ども読書活動推進計画」の実施年、それからまちなか図書館の大きな計画の策定の時期ということもありまして、それらを踏まえて、いずれ見直しをしたいと考えておりまして、今回は運営方針の見直しはしないという提案にしています。それから3の指定管理者制度に伴う運営の基本方針についても平成30年度が指定管理の第3期となりますので、これにつきましても必要があればその前に見直すということなので、今年はこのままとさせていただきます。</p> <p>見直しの提案については、2の重点事項につきまして、下線部分の2か所について提案させていただきます。1点目は、順番が逆にになって恐縮ですが、6の「子どもや若者が本に親しむ環境づくりに取り組む。」という新たな項目を設定したいものです。裏面を見ていただきますと、昨年度は「利便性の向上を図り、快適な環境づくりに努める。」でしたが、大きな施設の改修等も無いことと、もう一つは来年度は第1次の長岡市子ども読書活動推進計画の最終年でもあることからここで項目として挙げさせてもらいまして、その総括も含めて取り組みたいということです。この6を設置したことに伴いまして、2の「課題解決に向けた資料及びサービスの充実を図る」に、「利便性の向上に取り組む。」をこちらに付けさせてもらって修正したいというものであ</p>

<p>委員長</p>	<p>ります。以上です。</p> <p>運営方針、非常に重要なことですが、こちらについて御質問、御意見いかがでしょうか。</p>
<p>B委員</p>	<p>6番目の項目を掲げることは重要だと思います。ただ、今までの話を聞くと保育園・幼稚園、小学校、中学校までは熱中！感動！夢づくり教育も含めて成果が出ていると思いますが、若者というと高校、高専・大学、社会人となるとどうかなという印象がある中で、大学やながおか・若者・しごと機構など関係先との連携について来年度、具体的な予定があれば教えていただければと思います。教えていただければこちらも準備しますので。</p>
<p>事務局・館長</p>	<p>「長岡市子ども読書活動推進計画」は、高校までを対象としています。とはいっても市が高校のことまでなかなかできないこともあって、元々の計画の中に入っていますが、来年度新しい予算を取って何をやるんだといわれると、困る部分があるのは正直なところです。ながおか・若者・しごと機構から何らかの連携をしたい旨の話もありますので、まずは、そこを最初の窓口として取り組みたいと考えています。そして来年度の取り組みを踏まえて、新しい2次計画の中で新しい施策を提案し、さらに取り組みを進めたいというのが現状です。</p>
<p>委員D</p>	<p>関連してですが、高校は県立なので非常に入って行きづらい感じがあると思うのですが、まちぼんの本の紹介等で声をかけていただいたので、きっかけとしては非常に貴重だったと思うし、今高校生というのは本を読まないし、図書館に行っても学習室としか使わないしという感じで、不読率、1冊も本を読まないというのが5割を超えているんですね。そういう意味で、高校側としても地域と連携して積極的ににかかわるチャンスがあったらいつでも構えていて、たとえば書道部がパフォーマンスで出たりとかダンス部が出たりとか、いろいろやっていますので、ほんとこちらからも出ていかなければならないでしょうが、声かけてもらえば、チャンスがあればいくらかでも積極的に乗りたいと思っています。</p>
<p>事務局・館長</p>	<p>そういう意味では、最初はホールとか美術センターとか、催しの会場として誘致してきて、そのうえで図書館の資料と結び付けられればなと思っています。図書館としてもまずは、この会場を使ってやりませんかみたいな形で、なんとかネットワークを作っていきたいと考</p>

<p>委員長</p>	<p>えています。</p> <p>昨日、見附市の委員会に出席し、その時の感想を述べるのですが、あそこはウェルネスとか健康のまちづくりを標榜していて、市民の方が何歩か歩くとポイントが加算されてかなりいいことがある、そういう政策をやっているらしいんですよ。長岡も森市長のときに出てきた言葉だと思いますけれど、リジュベネーションですか、若返り、という言葉が出てきて、たとえば高齢の方で、頭が最近すっかりしないなという方が、本を読めばアルツハイマー防止になるとか、若い者のネット依存ではなくてそこらへんで活性化するとか、本を何冊読んだらポイントを加算するとか、なんかそういった長岡の総合的なまちづくりの施策にちょっとうまく乗っているような連携というのがあるとそれこそウィンウィンになりやすいかなと思うんですよ。冒頭、A委員が現代美術館があった場所だから現代図書館だとか、そういう発想というのが長岡市としてどうなんだと言った時に正直、全部これまじめな取り組みなんですよ。当然ながら。これやらなければならない話なんだけれども、長岡の大きな方針に連動した形というのが考えられていくとですね、ちょっと元気づくような気がするので、私、毎回この会議に出るとですね、こんないっぱいみなさん一所懸命サービス、お仕事されていてですね、疲れてこないのかなとちょっと心配しております、ウィンウィンになればいいかなと思っています。ま、これは私のコメントということでお願いします。</p> <p>運営方針についてはこれでよろしいでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>(異議なし)</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは、協議事項の③平成29年度の主な事業計画(案)について事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局・館長</p>	<p>協議事項③の資料を御覧ください。平成29年度の主な事業計画(案)として4項目を挙げています。項目の一番最後にカッコ書きで重点事項の番号を記載しました。先ほどご承認いただいた1から6のどの事項に該当するかを示させてもらっています。1番目が美術センター自主企画事業で、これは重点事項の1に該当するのですが、館所蔵品に見る堀口大學と長岡展というのを実施する予定です。これにつきましては現在、「新潟日報」で表紙に堀口大學の詩を紹介してしまっていては現在、「新潟日報」で表紙に堀口大學の詩を紹介してしまっていて、大体2年ぐらい行われると聞いており、来年度も行われる予定です。それにタイアップして新潟県立近代美術館が堀口大學の御遺族の方から</p>

資料をお借りして展覧会をやりたいという話がありまして、それと連携して、会場は分かれるのですが、図録を作りたいと考えています。長岡市立図書館開館 100 周年事業のプレ事業と位置付けています。

2 番目の子ども読書活動の推進につきましては、来年度が「長岡市子ども読書活動推進計画」の第 1 次計画の最終年度ということで、2 次計画についての検討を始める予定です。今年度を実施したアンケートなども参考にしながら、検討委員会を立ち上げて、その検討を進めていきたいと考えています。

3 番目の本と人をつなぐ、様々な事業の実施と利便性の向上ということで少しダブるのですが、開館 100 周年のイベントをやりたいということで、既存のものも一緒にしながら、①に 3 大イベントということで、まだ時期が未定なのですが、子ども向けのコンサートを中心とした図書館まつり、先ほどの堀口大學展、文書資料室の災害復興文庫の展示会をやりながら盛り上げていきたいと思っています。盛り上げるには何をするかというと、グッズを作っているということが決まったので、検討してからになるのですが、缶バッジになるのかクリアファイルなのかエコバックなのか一筆箋なのかこれら全部を作る予算は無いのですが、PR するものを作りながらやっていきたいと考えています。引き続き移動販売車を呼ぶのですが、のぼり的なものですか、展示会のときに来年は 100 周年だということを大いに PR しながら機運を高めていきたいと思っています。

それから先ほどの市民の要望の関係で、来年度実施するのが 2 つあります。1 つは、美術センターの壁面が大変汚れていて、汚いという御意見が多かったもので壁面をきれいにいたします。それから、中央図書館の入り口は入りやすいのだが、やはりスロープや階段には手すりがあったほうがいいのか、手摺りが必要だという話があって、これについても来年度早々に手すりを付ける予定です。

最後 4 番、文書資料室の取り組みですが、来年度は特に災害と図書館について考えるシンポジウムを展示会に併せて実施する予定です。今のところ熊本地震の関係、東日本大震災関係それから長岡の関係、場合によっては阪神淡路の関係の図書館関係者をお呼びしたいと考えています。災害に対してそれぞれいろいろな形で図書館は対応しているのですが、やはり対応にも地域性があつたり、いろんな考え方がるので、そこら辺を中越で話をお聞きしながら、図書館の役割をもう 1 回検討したいなということを中心にやっていきたいと思っています。場合によってはこれを 100 周年の事業にもつなげられるかなと。なお、この予算案は 2 月 28 日からの 3 月議会で審議され、その後、決定されることを御承知置きいただきたいと思っております。説明は以上です。

委員長	<p>ただいまの説明について、御質問、御意見いかがでしょうか。</p>
F 委員	<p>図書館友の会（なりふ）について図書館報に紹介していただきありがとうございました。来年度は新発田市の新しい図書館を視察する予定になっていますので、視察後は報告させていただきます。</p> <p>説明をお聞きしていると、乳幼児から中高生への働きかけがずいぶん進んでいるようなので喜んでます。図書館は対象が幅広くて感心しています。</p>
G 委員	<p>高校生などが学習室を利用するときに、貸出カードは必要なのでしょうか。</p>
事務局・館長	<p>受付で氏名は書いてもらいますが、貸出カードの提示は不要です。</p>
G 委員	<p>学習室が1階の本から遠いので、1階の閲覧室の窓際に机と椅子を置いて、ほとんどの図書館がそういう風になっていると思うのですが、子どもたちと本の距離を近づけることはできないか。本を見るだけでもいいと思うんですよね。そういう動線を作ったらいのではないかと思います。また、インターネットをもっと使いやすくしてあげると今の若い人はかなり飛びつくかなと思います。</p>
事務局・館長	<p>学習室の整備については、今後、中央図書館、地域図書館、それから新しい第3のまちなか図書館の役割を考えていく中で、重複しないよう検討したいと思います。なお、現時点で、中央図書館の1階のレイアウトを大きく変えることは難しいと考えています。</p>
委員長	<p>以上で本日の議事を終了いたします。皆様の御協力、誠にありがとうございました。</p>
9 会議資料	別添のとおり